

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL <0762> 52-2271

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 22-2525

会長：大村精二 幹事：佃 一成

情報委員長：中村三次

1983・9月22日 第249号

近世における加賀の地震

県立図書館古文書課長

田川 捷一氏



東京大学地震研究所の宇佐美教授にすゝめられ、石川県の近世の地震資料を集めて調べています。お寺等にある武士や、漢学者、儒者等の日記、過去帳とかを丹念に調べなければ、仲々地震の資料が集まりません。

私が現在調べた江戸時代の加賀能登に関する体感地震は、82回あると記録にとっています。江戸時代を、一応天正11年利家の金沢入城より、慶応4年までの約300年間とすると、約4年に1回の割合で、地震があったことになります。この中で、石川県内に震源地があったとみられる地震は約9件、津波をともなった地震は約8件あります。日本海の地震には津波はないという一般の見方でしたが、この間の日本海中部地震で、津波による犠牲者が多数出ました。新潟地震でも、江戸時代の8件の地震でもその例があるわけです。

82件中、主だった2～3例御紹介しますと、利家が金沢入城以来はじめて起きた地震は、天正13年の白山地震で、学者によれば震源地は白山裏のひら地方といわれるが、同じ日に伊勢方面を震源地とする地震が起きたと推定している学者もあり、熊本、鹿児島あたりまで及ぶ地震の規模から、震源地は2つあったと見られます。この地震で利家の弟の秀継が武将3000人で越中木舟城を守っていたが、一瞬のうちに土砂に埋もれ、秀継以下武将1500人ほどが即死したという悲惨さで、その他飛騨の帰雲城も1500人の武将即死、徳川家康の岡崎城、長浜城、伊勢神宮外宮、京都東寺等著名な社寺や城が大破等の記録があります。

震源地が大聖寺の寛永17年10月10日の大地震では、寛永16年加賀藩より分れて支藩となったばかりの大聖寺藩が、城を作り武士の住宅等、今の言葉でいえば都市再開発の99.9%まで完成して藩主を江戸より迎えるばかりの時に、地震のため壊滅し大被害を受けています。

天保4年(1833年)10月26日越後沖の地震では、能登一円に被害が及び、輪島では、総戸数の4軒に1軒が全壊流出し、津波の被害も大きかったようです。飯田の近くの正院の町の俳人が地震の4・5日後、輪島の浜を通りかかり、沢山の菰をかぶせた死体を見、近くの山の松の木に舟がひっかかっていたので驚いたと、日記に留めています。

金沢では寛政11年(1799年)5月26日の地震が大被害をもたらし、全壊4195軒、金石で津波がおきています。

この外82件の中には、色々なエピソードもありますが、このような記録を集めますのは、災害の恐しさを知るとともに、歴史の本当の姿を知り、後世に伝えるためであります。

—金沢北RC例会講話より— (文責 中村三次)

金沢北ロータリークラブの皆さんへ

国際ロータリー第261地区

ガバナー 伊東 清雄

金沢北ロータリークラブ会長 大村 精二 殿

過日貴クラブを公式訪問の際は、貴職をはじめ会員皆さまの心からなる暖かい歓迎に接し、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、懇談会の席上種々申し上げましたように、貴クラブは創立10年、当初の基礎がしっかりしていた上に、歴代会長の指導宜しきを得、会員の増加はほぼ順調、会員間の親睦融和の情は厚く、独特の委員会構成のもと、各部門の奉仕活動にも見事な成果を挙げられ、殊に地域に根ざした活動は目覚ましく、地区内優秀クラブの一であることはご同慶に堪えません。

特に出席率の優良なことは会員の皆さま一人ひとりがロータリーにおける出席の意義を十分に体得しておられる証左であり、また奉仕活動においては親睦と奉仕を両立させ地域に根ざした活動を展開しておられ、さらに国内外の友好クラブとの交流においても密接な連絡を保って、相互の理解と親善に大きく寄与しておられることに深く敬服いたします。

ただ欲をいえば会員増強について若い情熱ある人材の加入方について、今一つ配慮せられたいと申し上げたい所存です。

本年は創立10周年、十周年記念のプランをお伺いしてわが意を得た感じ、特に郷土誌「香我の譜」の上梓を期待しています。

ともあれ、貴クラブの歴史と伝統に敬意を表しますと共に今年度はRI会長賞に挑戦して、貴クラブの歴史の中に輝かしい一頁を加えられ、次なる20年、30年の飛躍台になられんことを祈ってやみません。

最後に、貴クラブと会員皆さまのご発展、ご多幸を心からお祈り申し上げます。

以上、御礼と所感の一端を申し述べました。

敬 具

新会員紹介



こし もと ようじろう
越 元 陽二郎 自動車販売

日産プリンス石川販売(株)代表取締役専務

石川郡野々市町横宮4-1

横川町5-9

会員番号 94

入会 1983(昭58)9

誕生 1934(昭9)3-30

結婚 1961(昭36)10-6

所属委員会 親睦委員会

TEL 48-2121

TEL 42-7223

夫人 淑子

長男 陽一

二男 克彦

趣味 読書

ゴルフ

保証人 山上啓介・由井賢一

私の一年 (2)

交換留学生 飯野 晃子

“LOVE”

私の三軒目のホストファミリーは、私が初めて心を許す事ができたアメリカ人のような気がします。前のお家ではまわりの人達から一方的に悪者にされていた私だったのに、一度も会った事のない私を「私の娘がKOKOはいい子だ、と言っていたわ」と言って、私をお家に招待してくださってすぐ次の日には、「一日も早く家へいらっしゃい」と言ってくださいました。

10月24日、いよいよ引越しです。車に荷物を積み、いよいよ、という時、私は涙がポロポロこぼれました。今までのつらかったことが頭の中を駆けめぐり、やっと解放される喜びと、早く落ち着いていた生活をしたい、という気持ちでいっぱいでした。

新しいお家へ移り、部屋のかたづけを終えると、お母さんが入ってきて、わかりやすくお家のいろいろな事を教えてくださいました。食事も遠慮することなく3食食べれる、シャワーもいつでも使える……など私には夢のような話に聞こえました。

“ハロウィーン”には、私もアメリカの子供達にまじり楽しくパーティーを過ごしたり、“Thanks Given”にはいろいろなごちそうを作ったり、親せきのお家へ行ったり、クリスマスには、いろいろな物を作ったり、とっても楽しく日々が過ぎて行きました。そうしているうちに、英会話も上達してきて、友達も増えました。成績もどんどん上がりました。

毎日、夕食の後かたづけを手伝うのが私が自分で見つけた私の仕事でした。私はその仕事がとても気に入っていましたし、その仕事をしながら、お母さんといろいろな話をするのが、とても好きでした。仕事を持っているお母さんと話をすることによって、アメリカ社会とアメリカの家庭と文化を両方をのぞく事ができました。お父さんは普段は静かですが、とてもおもしろい人でした。時々、小さな声でいやみを言ったりしますが、不思議とあまり気になりませんでした。

人間だからお互い、いやな所もあるけれど、家族だからいやな所も、まちがいを許し合える愛情があるから、相手の心をわかってあげれる私の心をわかってもらえる、自分を愛してほしい時は自分から心を開いて、自分から愛さなければいけない。という事をこの家族は私に教えてくださいました。

この家でお客様でもなく、労働力でもない本当の家族の一員になりました。そして、言葉・人種・生活習慣がちがっても、本当の友達をつくれる。そして、家族もつくれる、という事を学びました。

たぶん、これが私が生まれて初めて、血のつながらない人々を愛した初めてのことだったと思います。



ステファン・シーラ君より

拝啓 金沢北ロータリークラブの皆様、

お元気でお過ごしでしょうか。

金沢北ロータリークラブの大村会長さんをはじめ、山岸前会長さん、ホスト家庭の飯野さん、上田さん、木下さん、浅田さん他のロータリークラブの皆様のおかげで私はたいへん素晴らしい思い出の多い一年間を過ごさせて頂き、その上、先月七日、とてもお忙しい中、金沢駅までのお見送りに深く感謝しております。

金沢駅での皆様のご温かいお心づかいは、昨年、小松空港で私をお迎えして頂いた時、また金沢で過ごした、幸福な日々のことと私に思い出させました。日本での留学は、私の見聞を広げるには最高の機会であり、また非常に有意義であったことを北ロータリークラブの皆様へ、一年間の御好意と共に厚く御礼申し上げます。

現在、多くの西洋人は、日本に対する多少の偏見を抱いており、その事実は否めませんが、しかし、私は、日本において私たちに對する同様の偏見に気が付きました。

お互いの國に對する理解を深めるために、私たち、ロータリークラブの交換学生に代表される交換学生制度が存在してゐると、私は考えます。私は、お互いの抱く偏見をなくし、少しづつ、両國の理解を深めることが、必要であると考えます。

アメリカに帰ってから、毎日金沢でお別れた皆様のことを懐しく思い出しております。私は日本で過ごした一年間で、やはり思い出と沢山の友達を得ることができました。願わくば、カナダからの今年の留学生も私と同様の思い出と友達が増えようように、友達を沢山作り、楽しんで過ごさうと思っております。学生には最も素晴らしいことと思うからです。そして、それは、国際理解を深めようとする国際ロータリーの意図するところでもあります。

敬具、
ステファン・シーラ
八月二十三日

海外留学生受入れについての懇談会

(国際奉仕委員会) 8月30日 松魚亭にて

8月20日から金沢北RCにもカナダからディラン君が来ましたので、これを機会にホストをしていた方々を集っていただき、いろいろ体験談や注意事項などについて話合いました。

その中で、ここは日本であるから、その生活を体験させるよう努めること、特にお客様扱いしてサービス過剰にならないように気をつけることなどが強調され、具体的な事項について詳しく話合いました。この記録は後日、全文コピーしますので会員の皆様もお読みになって下さい。(石丸記)

出席者 大村精二・大村淳子・柴田芳恵・飯野郁子・浅田紀子・池島乙市・高島菊丸・石丸幹夫・広沢正美



理事會報告

9月8日(木) 松魚亭にて

■金沢5RC合同役員会報告

- 1. 地区年次大会参加人数の件。
- 2. 綿谷恵子リサイタルの件。
- 3. 米山月間に特別寄金の件。

■石川鹿島RC認承状伝達式の件
会長・幹事出席

■新会員の件

サントリー(株)金沢支店長 新谷正満氏

■武道大会の件

10月30日(日) 午前9時
石川県立武道館にて 案内状発送

■10周年記念例会

式典次第、予算案審議

■各委員会報告

- 社会奉仕委員会
12月9日(金) 街頭交通推進隊員感謝の夕。
- 職業奉仕委員会
職場親善早朝野球大会収支精算報告。
- 国際奉仕委員会
ヨバリンダRCへのビデオ作製費用10万円程度。
- 修練委員会
新会員の為のロータリーの本「ようこそロータリー」
50部購入。

■その他

- 9月29日(木) ロータリー梅林清掃奉仕
- 郷土誌の表紙デザイン決定。発行部数 2,000部。
- 意義ある業績賞申請 佃幹事担当

8月例会出席状況

出席率 98.39%

会員名	月日	8/4	8/11	8/18	8/25	8月	会員名	月日	8/4	8/11	8/18	8/25	8月
浅田 豊久		○	○	M	○	◎	乙村 舜吉		M	○	○	○	◎
浅野 弘明		M	M	○	M	◎	坂下 直人		○	○	○	○	◎
出島 敬識		M	M	○	○	◎	桜井 健太郎		○	○	○	M	◎
二木 正昌		M	○	○	○	◎	沢田 哲		○	○	○	○	◎
合田 英樹		M	○	M	M	◎	関田 夫稔		M	○	M	○	◎
春田 義正		○	○	○	○	◎	柴田 三郎		○	○	M	○	◎
長谷川 塑人		○	○	○	○	◎	清水 忠明		○	○	○	○	◎
橋場 幸一		M	○	欠	○	×	下村 義明		○	○	○	○	◎
本江 他美		○	○	○	○	◎	塩村 喜代次		○	○	○	○	◎
飯野 健志		M	○	○	○	◎	塩庄 鈴木		M	○	○	○	◎
池島 乙志		○	○	○	○	◎	庄高 厚郎		○	○	M	M	◎
石丸 幹夫		○	○	○	○	◎	高島 菊丸		○	○	○	○	◎
磯貝 貞吉		○	M	○	○	◎	滝山 憲三		○	○	○	○	◎
上子 次作		○	M	○	○	◎	館山 松雄		○	○	M	M	◎
金木 新光		○	M	M	M	◎	俵田 外代吉		○	○	○	○	◎
木下 和仁		○	M	○	○	◎	土原 安一		○	○	○	○	◎
小林 隆吉		○	○	○	M	◎	土田 成一		○	○	○	○	◎
小間井 宏尚		○	○	○	M	◎	佃見 栄一		○	○	○	○	◎
小野 民男		○	○	○	○	◎	上田 忠彦		○	○	○	○	◎
小杉 守善		○	○	○	○	◎	魚住 安三		○	○	○	○	◎
小増 江泰		M	○	○	○	◎	若山 上啓		○	○	○	○	◎
本岡 三千郎		○	病	欠	M	◎	山岸 与真		M	○	○	○	◎
本宗 市太郎		M	○	M	○	◎	山米 沢二		M	M	M	○	◎
中村 次三		○	○	○	○	◎	米吉 田夫		○	○	○	○	◎
中谷 荣治		○	○	○	○	◎	由井 富一		○	M	M	○	◎
大場 勝雄		○	○	M	○	◎	由岡 一		○	○	○	○	◎
大村 精二		○	○	○	○	◎	吉山 宥海		○	○	○	○	◎
大沢 久広		○	○	○	○	◎							◎
大岡 林太郎		○	○	○	○	◎							◎

